

(4 安全なまち豊橋)

6 時間完了 副読本 (p. 85~92)

③ さい害にそなえる

- 教科書 p 2~20 「火事からくらしを守る」「事故や事件からくらしを守る」の学習の後で、発展的に取り上げる。教科書にはないため、副読本を中心に学習する。

指導計画

	東京書籍		副読本「かがやく豊橋」
	本時の学習	○おもな学習活動・内容	●おもな学習活動・内容 ◇指導上の留意点
つかむ	①さい害について話し合おう (1 時間)		● 自然さい害がこわいなと思った経験について話し合おう。 ・ 地震 (東日本大震災など) ・ 洪水や台風 ・ 竜巻 ◇ P 86~90 の写真や表を見て、市内でも大きな被害を受けていることを確認する。
調べる	②こう水へのそなえ P85~88 (1 時間)		● なぜ洪水の被害が少なくなったのかを調べよう。 ・ 水屋や霞堤など、昔の人は工夫していたんだね。 ・ 1979 年には水害が 10 分の 1 位に減っている。何があったのかな。 ◇ 表「水害の様子」(p86) から水害が劇的に減ったことを確認し、豊川放水路 (p 87) との関わりに気づかせる。 ◇ 豊橋市洪水ハザードマップ www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_kensetsu/kasen/ ◇ 豊橋市河川ライブカメラ www12.ocn.ne.jp/~kasen/
	③竜巻(台風)へのそなえ P89~90 (1時間)		● 竜巻や台風の被害を小さくするためにどのような方法があるか考えよう。 ・ 外に出ていては危険。 ・ 飛ばされそうなものはしまう。 ・ 強化ガラス ・ 雨戸をしめる。 ・ 竜巻は発生しやすい場所があるのかな。 ◇ 消防防災博物館 www.bousaihaku.com/
	④地震へのそなえ P90~92 (2時間)		● 地震へのそなえとして、身近な所でどんなことが行われているのか調べよう。 ・ 緊急放送伝達システムの無線機は学校のそばにあるよ。 ・ 学校や市民館はひなん所になるため、いろいろなものがびちくされている。 ・ 防災用びちく倉庫はどこにあるかな。 ・ 校区でも防災訓練など、地震に備える活動が行われているね。

			◇p91, 92 の写真をもとに、防災の設備が校区のどこにあるのか確認させる。
ま と め ・ い か す	⑤わたしの防災 メモをつくろう (1時間)		<p>●わたしの防災メモをつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしの第一ひなん場所はどこになるのかな。 ・ 飲み水をたくわえてある貯水そうやびちく倉庫にするしをつけよう。 ・ どこで、どのように情報を得ることができるのかな。 ・ どこで家族と会えるかな。 <p>◇自分の家を中心に簡単な地図をかいて、書き込ませる。</p>